

本を選ぶ

NO.480 2025年(令和7年)5月20日

●発行／ライブラリー・アド・サービス

<https://www.las2005.com>

本社 〒114-0002 東京都北区王子 4-23-4 TEL=03-6908-4643

●<ろん・ぼわん>岐路とY字路 続

●司書の眼 第58回



岐路とY字路 続

4月1日から朝日新聞夕刊の題字が変わった。おっとエイプリルフールかと思いきや、3月末に社告が出ていた。タテからヨコにいただけと言えどそれまでだが、なんだか英字新聞のような、おしゃれのような。従来の桜の花の背景はなく、フォントもほぼ変更はないようだ。社告には「1915年の夕刊発刊から続いた縦型題字から110年ぶりの刷新」とあるが、もともと朝日新聞の創刊時は横型題字だったらしい。（「朝日新聞の題字の歴史」参照）

朝刊はそのまま、夕刊はタテからヨコへの変更はなにやら意味深に見える。少なくとも単にデザインを変更して気分を変えるなどの軽い決定ではあるまい。そして歴史を背負った朝刊は、厳しい環境ながら様々な工夫を重ねて^{しの}いで行く、そんな姿勢ではなかろうか。

朝日が購読者数減少を食い止めるためにもタテのものをヨコにして紙面刷新を図るのを見ても日刊紙夕刊の退潮が目立つ。歴史的には全国紙で夕刊廃止の先鞭をつけたのは「産経」だ。2002年3月末で東京本社の夕刊（約25万部）を廃止した。産経は朝刊第一面下の書籍広告の三八（サンヤツ）も廃止している。

毎日新聞は、すでに岐阜、愛知、三重の東海3県の夕刊を休刊している。「読者の皆様のライフスタイルの変化に対応するため」だそうだ。同じく北海道での夕刊を休刊している朝日新聞も東海3県での夕刊を休刊、さらに静岡県、山口県、福岡県で夕刊の発行を休止している。全国紙でこんな状況だから、地方における新聞各社の困難な状況は明らかだ。購読者数の大幅な減少、用紙代はもちろん、印刷経費の高騰、加えて販売店の人手不足は深刻さを増している。

苦境に喘ぐ毎日、大阪本社ビルを手放し、さらに資本金を大幅に減額して中小企業になった。資本減額は節税対策である。一方、日本経済新聞社は「刷新」の上を行く思い切った改革を打ってきた。その中核が新聞社各社に先駆けて決断したコンピュータの導入である。1960年代後半から70年代前半の話だ。

新聞印刷の組版にコンピュータのシステムを導入して、一文字ずつ活字を拾って組版をする従来の印刷方式から脱却しようとする一大プロジェクトである。新聞発行の根幹部門として独立している訳ではなく、当然社内の連携部門にもそれなりの痛みや軋轢が生じただろうが、時代は技術革新を求めている。岐路にあったのだ。（『メディアの興亡』（杉山隆男 著／四六判上製／文藝春秋／1986年／第17回大宅壮一ノンフィクション賞受作）

今日もペラペラの僅か8頁の夕刊が届いた。しかし、いずれ届かなくなるであろう夕刊には哀惜が湧く。革新が必要なのは当方なのか。（埜村太郎）

2025年1月末、老人ホームから母が新型コロナウイルス感染症に感染したとの連絡が入った。施設では断続的に集団感染が発生しており、先ごろから母が生活しているフロアも閉鎖されている状態であった。当初高齢者施設での感染の厳しい状況が伝えられる中で、母がどのような状況に置かれているのかを思うと、不安と心配が胸に押し寄せた。

しばらく発熱程度で症状が落ち着いていたものの、もともと痰が絡みやすい体質であったため、血中酸素濃度が一時的に低下する事態が発生した。施設は週末は看護師不在で、痰の吸引もできないらしい。それで日曜の朝、救急車による緊急搬送が決定された。搬送先の病院内では感染症対策が徹底されており、面会は禁止されていた。しかし、医療スタッフのご配慮により、扉越しではあるが家族に母の様子を見る機会が与えられた。点滴によって水分が補給されているおかげで、母は比較的正常な様子を保っており、その姿を目にすることで安心感が広がった。

このような状況ではあったが、症状が回復すれば、再び老人ホームで穏やかな日常生活に戻ることができるだろうという希望が胸をよぎっていた。そして、その希望を抱きながら帰路につき、帰り道では、不安な心を少しでも和らげるために姉妹でファミレスに立ち寄り、温かいお茶を飲みながらその日の出来事や今後の母のケアについて語り合った。このひとときは、互いの気持ちを分かち合い、励まし合う貴重な時間となった。母の回復を信じつつ、一歩ずつできることを進めていこうという思いを新たにしながら、静かな心持ちでその場を後にした。

実感がわからない

数日が経過し、感染の危険性が下がったとの判断で医師から呼ばれた。退院に向けた話し合いであったが、母が食事をとらなくなっているとの報告を受けた。老人ホームでは手厚い食事介護が行われていたものの、病院ではそのような対応は難しいであろう。まして感染症病棟ではなおさらのことだろう、とそのときは軽く考えていた。再び老人ホームに戻れば、母もきっと食事をとり始め、穏やかな日常を取り戻すだろうという楽観的な気持ちで医師の言葉を聞いていた。しかし、医師からは、

高齢者が食事をとれない状態が続く場合、入院の継続は困難であり老人ホームでの看取り期に備えた準備をしてほしいという説明があった。

それを聞いている間、どこか現実感が薄れ、自分とは直接関係のない出来事のような感覚に包まれていた。翌日介護タクシーを利用して老人ホームに戻る間にも、母は肌の色艶が良く、むしろ元気そうに見えたため、「死」というものがあまりにも遠い存在に思えた。

老人ホームでも看取り期に向けた準備が始まり、ケアサービスを提供してくれるスタッフとのミーティングが行われた。母は個室へと移動し、新しい環境での時間が始まった。老人ホームの職員たちも、母が戻ってくれば食事を再びとり始めるだろうと考えていたようであったが、3日が経っても嚥下が難しい状態が続いた。流動食に変更しても、口から先に進むことがなく、母の状態を見て「これはやはり…」という空気が徐々に広がり始め「今が一番元気な状態だと思ってください。」と言われた。その時点で、母との別れを見据え始め、近親者への連絡を決断した。母の妹や弟も既に高齢であったが、いずれも関東近辺に住んでおり、翌日や翌々日には自分たちの家族を伴って見舞いに来てくれた。母の元気そうな姿に接した彼らは、看取り期とは思えないと感じたようであったが、長年の経験から別れの準備をきちんと進めてくれた。子どもたちや孫たちにとっては、まだまだ実感のわからない出来事であり、まるで新年の一つの親戚行事であるかのような感覚であった。

満月の引力

人間の生死と月の引力には、自然界の深い繋がりがあるとされている。月の引力は地球上の潮汐現象を引き起こす要因であり、海洋の水位を上下させるだけでなく、地球全体の生態系に影響を与えている。人間の体内にも水分が多く含まれているため、月の引力が微細な影響を及ぼしている可能性があると考えられている。

例えば、満月や新月の時期には、睡眠の質や感情の変化が報告されることがあり、これが月の引力による影響であるとする説も存在し、満月の夜に人々が不眠を訴えるケースがあるという。狼男伝説もこれかもしれない。月の光は心理的な刺激を与えるだけでなく、引力が

体内のリズムに影響を与える可能性がある。古代から満月や新月の時期に合わせて農業や漁業が行われてきたことも、月の引力が自然界に与える影響を示しているのだろう。

2025年の2月12日は満月だった。満月に近い時期は大潮の影響で満潮と干潮の差が大きくなる傾向がある。東京湾における満潮は午前6時頃と午後6時頃、干潮は午前11時頃と午後11時頃。月の引力が最も強くなる満月の時期には潮汐が大きく変化し、人間の生死においてもこうした自然のリズムが何らかの形で影響を与えているといわれている。

2月11日の面会の帰り際に、ケアマネジャーさんが「今夜が山でしょう」とぼつりと言った。「近い方をお呼びください。」それをきいて、明日が満月なのを思い出したのだ。人間の生命力と地球上の潮汐。迷信というよりも、大きな抗えない力にゆだねられている感じがした。

誕生日効果

「誕生日効果 (Birthday Effect)」と呼ばれる統計的な現象を知っているだろうか。これは、誕生日やその前後の時期に死亡率がわずかに高まる傾向を示す研究結果に基づいたものである。

具体的な要因はまだ完全には解明されておらず賛否はあるが、誕生日まではがんばりたいという終末期の気持ちはわからなくもない。文学的にも「大切な日を迎えることが人生の締めくくりとなる」というテーマが描かれることが多い。

じつは実父も誕生日の夜に亡くなった。人は大切な日を迎えるために無意識のうちに力を振り絞ることがある。先日亡くなった教皇フランシスコは、医師の助言に反してキリスト教徒にとってきわめて重要な日である復活祭（イースター）に集まった教徒を祝福し、その翌日に長年暮らしていたヴァチカン市内のゲストハウス「聖マルタの家」の自室で亡くなった。心と体の深い繋がりを想起させる事例とも言える。終末期には誕生日が近づくにつれて精神的に緊張が高まる一方、その後には心身のエネルギーが急激に低下するらしい。

お誕生日祝いのケーキもマンゴーゼリーも食べられず、明日の朝は病院に行こうね、と話していたその夜中に、付き添いをしていた次姉が夜中にふと気がつく、すでに父は息をしておいなかったらしい。家系的に農家の

末息子である父には3姉妹が生まれ、墓を継ぐ人もいないので墓は合葬式墓地にした。葬儀後四十九日を終えてから、父は母と一緒に埋葬されるためにお釈迦様の懷の待合室でひっそりと待っていた。母の誕生日は3月27日で、そこまでは少し遠いね、と話していたが、そのあたりが四十九日となり、無事父の待つ待合室に行くことができたのだった。

心の準備

看取り期において、食事がとれなくなる状態から終末期に至るまでの身体的・医学的な変化は、以下のような段階を経て進行することが一般的である。まず、食量や水分摂取量が徐々に減少し、空腹感や喉の渇きを感じなくなる。消化機能や代謝機能の低下により、体がエネルギーを必要としなくなり、介護側も無理に食事をさせることは避け、本人が望む範囲で好きなものを少量ずつ提供する。食事をとれないところから、水分もとれなくなってくる。物を飲み込む力が弱まり、エネルギー摂取が困難になる。ここで、点滴など栄養を強制的に摂取させてしまうと、腹水などの原因ともなる。まめに口腔ケアを行い、口腔内の乾燥を防ぐ必要がある。

介護スタッフが口腔ケアツールと「のみや水」（キッセイ薬品工業）という水分補給ゼリー飲料を用意してくださった。これは、ゼリー状なのだが、温度が高くなるとゆるくなり、嚥下能力が低下しても無理なく飲むことができる飲料で、介護スタッフがニコニコ教えてくれたネーミングの素敵さが忘れられない。介護関係の製品はどこかほっとするような名前が多いと思う。

水分がとれなくなってくると、それまで目があって気持ちの疎通ができていたのが意識レベルが低下してきて眠っている時間が増え、目を開けることが少なくなる。声をかけても反応が鈍くなってきた。介護スタッフが体位を変えたり、こちらが手を握るとふっと目を覚ますこともある。だんだんと脳への酸素供給が減少し、全身のエネルギーが低下してきているという。声をかけても振り返ることがなくなり、そうこうするうちに、呼吸は荒く不規則で、とても速くなったり、またゆっくりになったりする。あまりに激しい呼吸なので、こちらはいよいよかと心配になるが、介護スタッフによると案外本人は楽なのだという。「だんだんと脳の酸素量が減ってきているんですよ」。そのころから、介護スタッフさんが様

子を見るときに手足を確認するようになった。心臓のポンプ機能が低下し血圧が下がると、血液循環が弱まるため、体の先端の色が変わってくるのだという。

そして、おむつ交換時にパットの排尿量を確認する。口から水分を摂っていないため、徐々に排尿量が減少し最終的には無尿状態になる。マネージャーさんの「今夜が…」という言葉はこのあたりで伝えられた。

生きる力とは

実は、母はそれから3日間も生きていたのだ。満月の夜をみんなで過ごした後、それでも肩で呼吸している母を誰か一人が見ている状態にして、とりあえずみんな自宅に帰った。一晚みんなであれやこれやと思い出話をして過ごし気が済んだのか、みんなそれぞれが普通の生活を忘れてはいけないと思ったようで、仕事に行く者も、趣味の習い事に行くといっている者もいた。母は意識が完全に失われ、はあはあと荒い呼吸をし続けている。

母の生命力は、終末期において驚くべきものがあった。幼い頃から病気がちで身体が弱かった彼女が、これほどまでに強靱な生命力を持ち続けているとは思ひもしなかった。食事水分も摂取できなくなり、意識も薄れ、呼吸が荒くなる中で母が命を繋いでいたその姿は、単なる肉体的な強さだけではなく、深いところで彼女自身の生への執着や思いが込められているように感じられた。人間の「生きる力」は単純に生命機能の継続に留まるものではなく、周囲の人々との関係性、記憶、そして人生そのものへの深い愛情や意志が関与していると言える。

母が見せた生命力は、彼女自身の体内だけで完結するものではなく、家族や近所の人たち、お友達とのつながりによって支えられていた部分も大きかった。たくさんの習い事をしてきた母、PTAや子ども会・自治会のお祭りの下働きを率先して買って出た母。満月の夜、家族全員が母を囲み、それぞれ思い出話を語り合いながら過ごした時間が、母にとっての支えの一端となったのではないだろうか。

未来へと続く大切な記憶

母は看取り期に入ってから、その生命力を静かに、しかし力強く発揮していた。目を開けなくなった後も手を握ればふっと目を覚ますことがあったし、荒い呼吸を繰り返しながらもその存在を感じさせてくれた。それは

まるで、母自身が家族に「まだここにいる」「今でもあなたたちを感じている」と伝えようとしているかのようであった。

母が最期の時を迎えるにあたり、家族はそれぞれの日常に戻りながらも母の存在を支える形を見つけた。普段の生活を忘れるのではなく、そこに母との思い出や感謝の気持ちを添えることで、彼女に対する思いを大切にした。母の生命力は、単なる物理的な「生存」を超えたものであり、家族を結びつける力として作用していた。

母が見せてくれた生きる力は、周囲の人々がその姿を通じて自分自身の生についても考えるきっかけを与え、我々自身の生き方にも新たな視点を与えるものだった。単なる一人の人生の終わりではなく、家族や近親者との絆を深める機会を提供してくれたと言える。そしてその絆は、未来へと続く大切な記憶として、私たちの生きる力の一部となっているのである。

愛する家族と愛犬に囲まれて

看取り期間中、不登校であった末娘は何度か母の見舞いに訪れていた。2月14日の午前中にも見舞いに来るので駅まで迎えに来てほしいと連絡が入った。電車に乗ることに不安を抱えながらも、娘が懸命にその不安と向き合い頑張っている姿に心を動かされた。母の容態は既に呼吸が停止しかけることもあるほど不安定な状態であったため、「今、迎えに行かないほうがいいのではないかと姉に止められた。しかし、「生きている子を大事にすることもまた親孝行であるはずだ」と考え、甥っ子の車に乗り駅へ迎えに行き、その足で再び老人ホームへ戻った。

これまでの面会で母が犬を愛し、かつて飼い犬を大切にしていたことを老人ホームの職員の方々が思い出してくれた。そして、「最後のお別れに飼い犬たちを連れてきてはいかがですか」と提案をいただいた。その提案に甘え、3匹の小型犬と1匹の大型犬レトリバーを病室に連れて行くことにした。ただし、エレベーターホールは使用できないため、非常口経由でベランダから病室に入るという形を取った。病室内では、家族が揃い、犬たちも交えて賑やかに語らうひとときが広がった。

午後2時、その和やかな空気の中、母の呼吸がふっと静かに止まった。その瞬間、姉が「人からモノになった」とつぶやいた。その一言は、深い悲しみと共に、母の旅立ちを静かに受け入れる心情を表しているようで

あった。母は家族と愛する動物たちに囲まれながら、穏やかにその生涯を閉じたのである。

Do the hokey pokey

それからすっかり不登校特例校にも通わなくなっていた娘は、3月によりやく1度登校することができた。在籍校に修了証を代理で受け取りに行き、「この1年で一体何を修了したのだろう」と肩を落とした。

しかし、人生の経験として誰かを看取るということは、何にも代えがたい特別な時間であっただろう。彼女自身にとって、祖母の看取りを通じて学んだことは、単なる学校の勉強では得られない人間としての深い学びであったのではないだろうか。母の一連の葬儀を終え、家

族に囲まれ、温かな時間の中で母が旅立ったその瞬間は、娘にとって「死」というものを直接的に経験し、自分自身の未来を考える契機となったと思う。

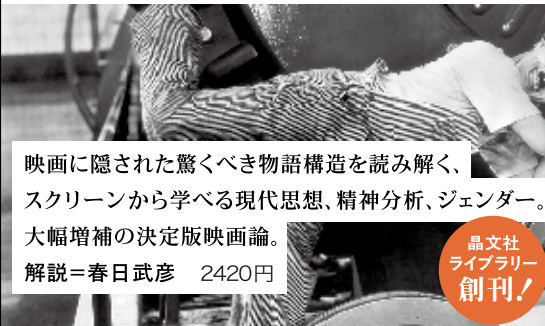
母が生きた年月と自分自身がこれから生きる期間は、母を基準にするとまだ30年余りの時間がある。同時に、祖母が生きた年数を考えれば、その可能性はさらに広がる。この時間をどう使うべきなのか。母が人生において遺してくれたものを受け継ぎ、次世代に何を伝えていくべきかという思いが自然と湧き上がる。家族それぞれが今後の人生を見つめ直している。このかけがえのない経験を胸に刻み、未来の可能性に向けて歩んでいくことこそ、母が家族に遺してくれた大きな贈り物である。

(たかの ゆうこ：医学系研究所図書室)

DMかたるく

映画の 新版 構造分析

内田樹



映画に隠された驚くべき物語構造を読み解く、
スクリーンから学べる現代思想、精神分析、ジェンダー。
大幅増補の決定版映画論。
解説＝春日武彦 2420円

晶文社
ライブラリー
創刊!

晶文社 〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-11
Tel 03-3518-4940 <https://www.shobunsha.co.jp/>

まるっと中学校

知っておきたい中学生生活のヒント

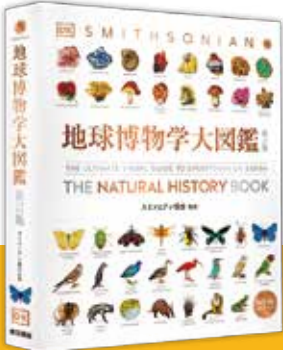
「中1の壁」対策に必読の一冊!



中学校ってどんなところ?
制服や校則、時間割と授業内容、
中間&期末テスト、本格的な部活、
人間関係、心と体の変化。
これ一冊で中学生生活への疑問・不安はすべて解消!

藤川大祐・監修
●定価: 本体4,800円+税
●A4変型判(26x20cm)/136頁
●ISBN978-4-265-05980-5
●小学校高学年～中学生

この1冊が未来をつくる
岩崎書店 〒112-0014 東京都文京区関口 2-3-3-7 階
TEL 03-6626-5081 FAX 03-6626-5085



世界最大の 自然博物館 開館!

生命の驚異的な多様性が
この1冊に!
世界75万部のベストセラー
待望の新訂版

地球生物学大図鑑 新訂版
スミソニアン協会監修
オールカラー672頁 定価11,000円(税込)
◀詳しい内容はここから▶ 東京書籍



洋書専門取次
株式会社 三善



ペンギン・リーダー 60セット
英国Penguin社発行 各60冊
全8レベルの多読リーダー

ハリー・ポッターセット
魔法ファンタジー『ハリー・ポッター』原書

洋書読み物
セット紹介の
WEBサイトは
こちらから

eigo-meisaku.com
英語名作ライブラリー



Miyoshi 〒167-0032 東京都杉並区天沼2-2-3
TEL: 03-3398-9163 FAX: 03-3398-9170

川崎 剛

社会科学は「思考の型」で決まる

リサーチ・トライアングルのすすめ
一生ものの論理思考術。 2420円松下佳代・川地亜弥子・
森本和寿・石田智敬 編著

ライティング教育の可能性

アカデミックとパーソナルを架橋する
書くことの意味とは。 3300円

勁草書房

TEL 03-3814-6861 *価格税込
FAX 03-3814-6854〒112-0005 東京都文京区水道2-1-1 <https://www.keisoshobo.co.jp>

民主主義の比較政治学

伊藤 武・作内由子・中井 遼・藤村直史 著

現代の民主主義国の政治に焦点を絞って、議会や政党はもちろん、文化、宗教、司法などさまざまな分野を取り上げて説明していく新しい比較政治学のテキスト。世界的に民主主義が後退していると言われる今こそ、民主主義国の政治のしくみをじっくりと考えてみよう。

y-knot 四六判 定価 2420 円



ものづくりの革新 英米日の歴史に見る製造現場の管理

和田一夫 著

産業革命期の綿紡績工場の多層階の建物はどうに設備が設置されたどのような管理が行われていたのか、互換性部品製造の工場の内部はどうに管理されていたのか、「伝票」はものづくり現場で、なぜ、いつ頃から使われるようになったのか。緻密に追究する。

四六判 定価 2640 円



有斐閣

東京都千代田区神田神保町2-17
<https://www.yuhikaku.co.jp/>

価格は税込

地球研叢書

総合地球環境学研究所の
研究・成果を分かりやすく伝え、
人と地球の未来を考えるシリーズ

現在 27 巻刊行、ぜひお揃えください！

定価：各 2310 円～ 3080 円（分売可）

図書
出版

昭和堂

〒607-8494
京都市山科区日ノ岡堤谷町3-1
TEL075-502-7500 ※価格 10%税込

集団内の特殊なことば約13,200収録

集団語大辞典

米川明彦 編著

定価 30,800 円
(本体 28,000 円 + 税)

ISBN 978-4-490-10955-9



職業的集団（警察・銀行・新聞・テレビ・病院など）、反社会的集団（スリ・犯罪組織など）、被拘束集団（軍隊・囚人など）、学生集団（若者ことばなど）、趣味娯楽集団（鉄道オタク・ゲームなど）189集団において、業務の効率化のため、外部から隠すため、会話の楽しみとして、仲間意識の高揚のためなどの理由から用いる「国語辞典」にほとんど載っていない語を豊富な用例とともに収録した、日本語語彙研究の金字塔といえる大辞典！

株式会社 東京堂出版

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町 1-17
TEL 03-3233-3741 FAX 03-3233-3746J.S. バッハの
オルガン音楽
全曲解説ピーター・ウィリアムズ 著
廣野 嗣雄・馬淵 久夫 監訳The Organ
Music of
J.S. Bach
Second Edition
by Peter Williams

朝倉書店

菊版 612 頁
定価 13,200 円（本体 12,000 円）
ISBN978-4-254-68028-7

朝倉書店

東京都新宿区新小川町6-29
〒162-8707 TEL03-3260-7631Peter Williams 著
廣野 嗣雄・馬淵 久夫 監訳曲を全て網羅！
バッハのパイプオルガンのみならず、すべての音楽ファンにとって必携の書。発達障害も
愛着障害も
こじらせない

もつれをほどくアプローチ 6月中旬刊

●予価 2970円(税込)
978453598543-8

村上伸治(著) その生きづらさの背景にはグレーゾーンの発達障害や愛着の問題があるかもしれない――。

ジュニア 数学オリンピック 7月中旬刊
●予価 2420円(税込) ISBN 978-4-535-79043-8

2020-2025 数学好きの小・中学生達が腕を競い合うJJMOのための参考書。



日本評論社

〒170-8474 東京都豊島区南大塚3-12-4
☎03-3987-8621 <https://www.nipponyoko.co.jp>